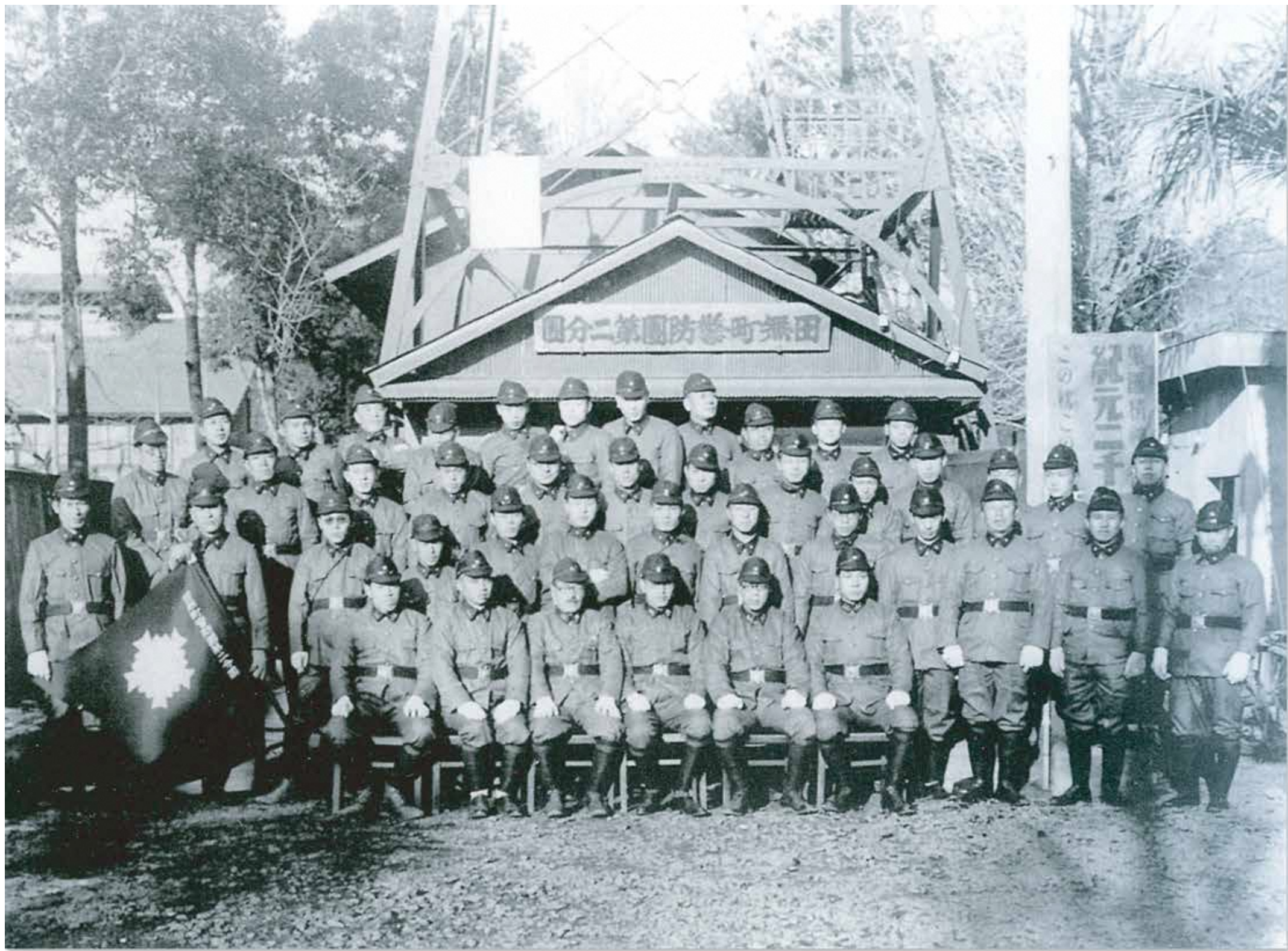


こく みる そう どう いん たい せい

国民総動員体制(1)



田無警防団第二分団 1940(昭和15)年

1939(昭和14)年の警防団令の発令にともない、従来の消防組や防護団を統合して警防団が組織された。



警防団の指導のもと、青梅街道で行われた防空演習
1940(昭和15)年



バケツリレーによる防火訓練 1944(昭和19)年頃
総持寺境内にて

西東京市図書館 地域・行政資料室提供

にっちゅうせんそう

日中戦争をきっかけに1937(昭和12)

こく みる せい しん そう どう いん うん どう

年9月から「国民精神総動員運動」が

きょ こく いっ ち

開始され、「挙国一致」というスローガ

ンのもと、生活のあらゆる面で戦意高

揚が図られました。

翌年には国家総動員法が公布され、

こっ か そう どう いん ほう

戦争遂行のための物資統制や金属

すい こう ぶつ し どう せい きん ぞく

回収、軍費捻出のための貯蓄増進など、

かい しゅう ぐん ぴ ねん し ゆつ ちょ ちく ぞう しん

国民が戦争に奉仕させられる体制が

できあがりしました。さらに1940(昭和15)

たい せい よく さん かい

年には大政翼賛会が結成され、地域

には町内会や隣組が設けられ、国民

は戦時体制に組み込まれていきました。

となりぐみ

は戦時体制に組み込まれていきました。

『主婦の友』1944(昭和19)年
7月号 表紙と裏表紙



子どもも防空演習に参加した。